

埼玉県バレーボール協会長杯争奪中学バレーボール大会

審判上の運営について

審判部長 三浦 岳彦

- 1 男女それぞれの初日(4月28日・29日)は、帯同審判員制で行います。
 - ・チームは、審判員を帯同するか、監督またはコーチが審判をすることになります。
 - ・チームの帯同審判員には、昼食・交通費・日当は出ません。
 - ・各会場のメイン会場に、審判部よりコントローラーを配置します。

- 2 審判割り当てについて(審判上の注意事項参照)
 - ・今大会は各チームから以下のコートオフィシャルをお願いします。
コートオフィシャル⇒線審4名・点示2名・記録3名の合計9名
 - ①第1試合…第3試合の両チームから4～5名ずつ。
 - ②第2試合以降…前試合の敗退チームから9名。
 - ・*人数が不足しているチームは本部の競技役員に申し出ること。(原則的には、勝利チームから不足分を補ってもらう。)
 - ・主副審について
 - ①第1試合は第3試合の両チームからお願いします。
 - ②第2試合以降は前の試合の両チームからお願いします。
 - ③主副については、お互いに相談して決めてください。
 - ・※勝ち上がりの結果、同一市町村のチームの試合を審判することもあり得ます。この場合、可能な範囲で副審になるようにしてください。

- 3 コントローラーについて
 - ・各コートのコントローラーにあたっている方には、昼食・交通費・日当が支給されます。
 - ・審判上のトラブルには積極的に対処します。(特に、ロングサーバーなどの処置など) そのため、記録席に座ることもあります。
 - ・終了後は会場ごとに反省会を行います。各会場責任者は第1体育館にて最終ミーティングを行います。
 - ・各会場・コートの競技運営(エントリー確認、競技開始時刻の確認)にも協力します。
 - ・今大会の帯同審判には昨年度公認審判資格を取得した審判や、より上級の審判資格を目指し、精進している審判が多くいます。今大会に限っては、試合中、場合によってはルールの取り扱い等でコントローラーが試合に入りアドバイス等を行うことがありますので、ご了承ください。

- 4 ルールの取り扱いの変更について
 - ・本大会はR5年度のルールで行います。
 - ・審判上の注意事項を必ず確認してください。